

会議名 第1回教育委員会臨時会議事要録

詳細 教育委員会教育総務課 電話03-3981-1141

附属機関又は 会議体の名称		教育委員会臨時会
事務局(担当課)		教育委員会教育総務課
開催日時		平成19年1月25日 午後2時00分
開催場所		教育委員会室
出席者	委員	中島 章皓(委員長)、月岡 透(委員長職務代理者)、 松木 正一、三神 和子、日高 芳一(教育長)
	その他	教育委員会事務局次長、教育委員会教育総務課長、 学校運営課長、教育改革推進課長、教育指導課長、 中央図書館長、統括指導主事
	事務局	教育委員会教育総務課庶務係長、教育委員会教育総務課庶務係 主査、
公開の可否		公開 傍聴人数 0人
非公開・一部公開の 場合は、その理由		
会議次第		1. 第3号議案 豊島区文化財保護審議会委員の委嘱について 2. 第4号議案 豊島区文化財の登録について 3. 協議事項 平成19年度教育目標について 4. 協議事項 区立小・中学校「卒業式あいさつ」の主題につい て 5. 報告事項 教育委員会後援名義使用の承認状況(第3四半 期)について 6. 報告事項 「豊島区教育ビジョン」(素案)について 7. その他

審議経過

委員長)

第1回教育委員会臨時会を始めます。本日の署名は月岡委員と三神委員にお願いいたします。

(1) 第3号議案 豊島区文化財保護審議会委員の委嘱について

<教育総務課長 資料説明>

委員長)

ご質問等いかがでしょうか。

委員)

10期20年は長いと思います。後任者を探すことが難しいということもあるかと思いますが、20年間同じ人というのはいかがかと思います。安易に同じ人に頼んでいるということはありませんか。今回、委嘱することについて異議はありませんが、再任の回数は制限した方がいいのではないのでしょうか。特別の理由があって長く委嘱する場合はその説明をするようにしてください。

教育総務課長)

次回委嘱するときに、ご意見を反映するようにしたいと思います。

委員長)

よろしいでしょうか。

(委員全員 異議なし)

(2) 第4号議案 豊島区文化財の登録について

<教育総務課長 資料説明>

委員長)

ご意見ご質問ありますでしょうか。

委員)

アジア太平洋戦争という表現はどのようなところで使われていますか。

教育総務課長)

帝国書院出版の教科書にはアジア太平洋戦争と記載されていますが、太平洋戦争が一般的です。梵鐘など金、金具類を供出したのは昭和17年ころと推測されます。文化財保護審議会では、広い範囲で繰り広げられた戦争なので、アジアという文言をつけた方が実態に合っているのではないかという意見が多く出されました。

委員)

実態としてはアジア太平洋戦争だと思いますが、あまり使われていないので、この表現を使う理由を、例えば文部科学省の検定を受けている教科書でも使われており、文化財保

護審議会でも実態にあっているという意見があったというように、説明できるようにしておかなければならないと思います。

委員長)

ほかはよろしいでしょうか。

(委員全員 異議なし)

(3) 協議事項第1号 平成19年度教育目標について

<教育指導課長 資料説明>

委員長)

ご意見をお願いします。

委員)

方向はとてもいいと思います。「充実をはかる」「推進する」としているの、これに基づき19年度どのような事業を行うのか、予算がついているのかを整理しておいてください。

教育指導課長)

いじめ相談員の配置など予算を確保したものや、今までの予算の範囲内でより充実させるものがあります。実のあるものにしたいと思います。

委員)

重点目標2.(1)基礎的・基本的な内容を身につけることをぜひ実現させてください。2.(3)キャリア教育という言葉はよく使われていますが、ここで意図しているものとずれがあるのではないのでしょうか。

教育指導課長)

子どもたちが目標を持って自分の将来設計をし進んでいくことを生き方教育と言っていますが、生き方教育の中で職業観、勤労観を明確にしたいという考えからキャリア教育という言葉を使っています。文部科学省の方でもこのように使っていると思います。

委員)

キャリア教育とは、例えば、英語の先生になるときに英語の訓練をすることなど、そのための知識を身につける教育のことを言います。日本では間違っ使っていますが、豊島区も間違っ使いかたをしますか。

教育指導課長)

定義を明確にして検討します。

委員)

キャリアということばは誤解されやすい言葉です。できるだけ横文字は使わないほうがいいと思います。5.(4)「地域のスポーツクラブ等の活動を支援する」とありますが、これは区長部局の仕事になったと思います。教育目標の中にこのように入れていいのでしょうか。検討してください。

次長)

「連携」であればいいですが、「支援」ではおかしいと思います。

教育指導課長)

全て削ってしまうと教員の意識から抜けてしまうので、文言を工夫して残したいと思います。

委員長)

他よろしいでしょうか。

(委員全員 協議事項了承)

(4) 協議事項第2号 区立小・中学校「卒業式あいさつ」の主題について

<教育指導課長 資料説明>

委員長)

ご質問等いかがでしょうか。

委員)

各委員この主題を持ち帰って、次回の定例会までに事務局へ意見を伝えて、文案を作成してもらおうというのはどうでしょうか。

委員)

小学校のものは少し難しくないでしょうか。

委員)

私は、中学校は(1)、小学校は(2)がいいのではないかと思います。

教育指導課長)

小学校の(1)は障害について触れているので、克服できる障害ばかりではないので、そのような方のことを考えると迷います。

委員)

気にしなくてもいいと思います。

委員)

耳で聞いてすぐに理解できるかどうかポイントだと思います。

教育指導課長)

次回、おおよその全体像をお示しします。

委員長)

よろしいでしょうか。

(委員全員 協議事項了承)

(5) 報告事項第1号 教育委員会後援名義使用の承認状況(第3四半期)について

<教育総務課長 資料説明>

委員長)

子ども体験歌舞伎は豊島区に限らず、広い地域でやっているのでしょうか。

教育総務課長)

豊島区という制限はありません。

委員長)

よろしいでしょうか。

(委員全員 報告事項了承)

(6) 報告事項第2号 「豊島区教育ビジョン」(素案)について

<教育改革推進課長 資料説明>

委員長)

ご意見、ご質問をお願いします。

委員)

体力も含めて学力とする考え方もありますが、どのように考えていますか。

教育指導課長)

保健体育の中で意欲、思考力、判断力、表現力を学ぶことができます。体力を学力からはずしているわけではありません。ただ、体力といった場合、もうひとつの柱として健康、体力とした方が明らかにしやすいだろうという考えからこのような構成にしました。

委員)

ビジョンの中で目標を数値化したのはいいと思います。ただ、目標とした数値の根拠は何なのかと思いました。また、短期的な目標と長期的な目標は分けたほうがいいと思います。当面の目標としてもっと絞るなど工夫が必要だと思います。

教育改革推進課長)

今回、目標の数値は仮の数字で入れています。根拠は難しいので、期待という意味も込めています。

委員)

調査結果(概要)を見て、朝食は全員にとって欲しいと思いました。10数パーセントの子どもが朝食を取っていないことが問題だということがわかる表現にしてください。

次長)

調査結果(概要)2、朝食をとる割合の『「毎日食べている」が、小学校では9割弱(89.0%)、中学校では8割強(83.8%)で最も多い。』の「最も多い」を削ります。

委員)

1割も朝食を食べていない子どもがいるということを強く訴える表現にしてください。

委員)

18ページに「スーパースクール開設の準備」とありますが、ぜひ実現するようにお願いします。

次長)

教員の中にもスーパースクールは必要だという意見があります。特区をとらないでできる範囲で実現させたいと考えています。隣接校選択制の関係、教員の配置など解決すべき問題もいろいろありますので、これからの5年間で実施に向けて検討します。

委員)

いろいろな意見、批判が出ると思います。基礎学力が低下していると言われている中、基礎学力をすべての子どもにつけることを前提に、その上で多様な教育を実現するということができれば説明できると思います。

委員)

学力を上げるのはどの学校でもやらなくてはならないことです。学力以外のところで、まず校長ができる範囲から、もっと特色のある学校をつくるのがスーパースクールにつながると思います。

次長)

公立学校の義務教育は同じであるべきという意見が根強くあります。すべての学校で基礎・基本の学力を充実させた上で特色を持たせると説明しています。

委員)

学校も選ぶ時代です。特色がなければ選べません。選ばれる側が努力しなければなりません。特色ある学校づくりに力を入れる方向でスーパースクール開設を進めてほしいと思います。

委員)

制度を作って始めるというのではなく、例えば東西1校ずつどこか特定の学校で、学力や教科だけでなくいろいろな面で特色を伸ばし、スーパースクールを実現させていくといいと思います。先日、目白小の研究発表会で英語の授業を見学してきました。そこで感じたことを何点か伝えます。コミュニケーション能力を向上させるために英語の授業が大切だということですが、なぜ国語でやらないのかと疑問に思いました。小学校では英語が好きなのに中学校で嫌いになってしまうことが多いようですが、そこをうまくつなぐ工夫をしてほしいと思います。他の教科や学校の教員にも授業をぜひ見てほしいと思います。また、アシスタントティーチャーとして保護者が入って授業の補助や支援をしていましたが、他の教科や学校でも同じようにできないでしょうか。検討をお願いします。

教育指導課長)

担任とのコミュニケーションよりもALTの方が子どもたちの乗りがいいという現象があります。日本語よりも自分なりに何らかの発音をしてやっていかなければならないので積極性を育むことができると考え、英語によるコミュニケーションということで強調しています。

委員)

英語のネイティブの人に限らず、異文化の人たちに積極的に関わっていくことが、英語

を通して、生きていくことの指針になります。人との関わりの基本になります。高齢の方と話しをするときも積極的に相手にわかるように話すという、人との関わりの基本を学ぶことができます。単に英語を話せるようになるということではなく、自分と違う人にどう自分を表現し、相手をいたわり、わかるように伝えるかということ学ぶのです。とても評価できると思います。保護者によるアシスタントティーチャーは学校によって事情が異なると思います。

委員長)

他はよろしいでしょうか。

(委員全員 報告事項了承)

(7) その他

給食費未納状況について

(午後4時00分 閉会)